

金沢市集約都市形成計画 骨子（案）について パブリックコメントでのご意見の概要と金沢市の考え方

◆募集期間：平成 28 年 6 月 28 日（火）～平成 28 年 7 月 27 日（水）

◆意見総数：51 件（16 人＋1 団体）

（頂いたご意見の中には、複数の項目について述べられているものがありましたので、内容により細分化し、51 件となりました。）

◆提出方法：電子メール（15 人＋1 団体）、郵送（1 人）

◆主な意見（要旨）

- 1.クルマから公共交通への転換がカギであり、新しい交通システム（LRT・BRT）や公共交通体系の整備が重要
- 2.各種 TDM（交通需要マネジメント）の推進（P&R、カーシェア等）が必要
- 3.都市機能誘導区域へ誘導すべき施設の設定が重要
- 4.本計画を推進していくための具体的な施策が重要
- 5.石川中央都市圏を構成する自治体との連携が必要
- 6.集約都市を目指す方針には理解でき賛成
- 7.都心部の駐車場対策や配置の適正化が必要
- 8.郊外の公共インフラのリニューアルやコミュニティの存続が大切 など

◆市の考え方・方針（要旨）

（1,2 について）

集約都市の形成と交通ネットワークは密接な関係であるため、第二次交通戦略に基づく公共交通重要路線等の利便性向上や各種 TDM 施策の推進、検討中の新しい交通システムとも連携を図り、計画を策定していく。

（3,4 について）

誘導すべき施設の設定や計画推進のための具体的施策は、今後、計画書のなかで具体的に提示する。

（5 について）

隣接自治体へは本計画を情報発信し、集約型の都市構造が広域的に構築されるよう共有・整合を促していく。

（その他）

市民が分かり易いよう計画書の記述内容を工夫する。